



ららちゃん  
ゲームでまなぼう！

かんせんしょうよぼう  
**感染症予防**

主催：厚生労働科学研究費補助金 情報弱者等の配慮を含めた感染症に対する適切な情報提供  
・リスクコミュニケーションに関する研究・研究班 後援：株式会社イオンファンタジー

© R Homade/AEON Fantasy Co.LTD





イオン富谷(宮城県)



イオン富谷(宮城県)



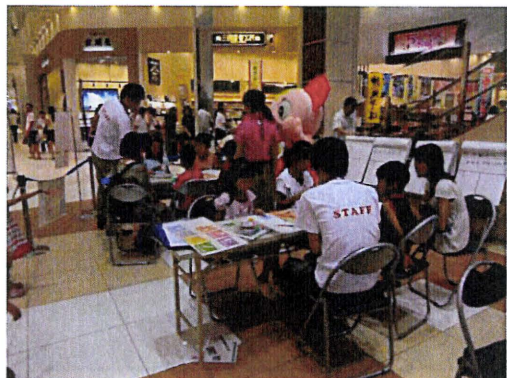
イオン土浦(茨城県)



イオン土浦(茨城県)



イオン土浦(茨城県)



イオン土浦(茨城県)



イオン土浦(茨城県)



イオン土浦(茨城県)



イオン大高(愛知県)



イオン大高(愛知県)



イオン新潟(新潟県)



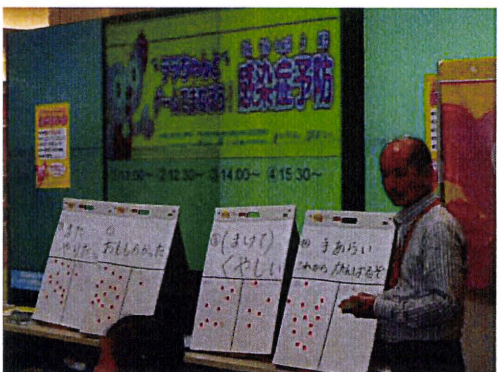
イオン新潟(新潟県)



イオン新潟(新潟県)



イオン浦和美園(埼玉県)



イオン高の原(京都府)



イオン高の原(京都府)



イオン札幌苗穂(北海道)



イオン福岡伊都(福岡県)



イオン大高(愛知県)



イオン日吉津(鳥取県)

厚生労働科学研究費補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）  
分担研究報告書

子どもを対象とした感染症予防行動における情報提供媒体開発

－双方向コミュニケーションを考慮した紙芝居の試作－

研究分担者 堀口逸子 順天堂大学医学部公衆衛生学教室助教  
吉川肇子 慶應義塾大学商学部教授  
金田英子 東洋大学法学部講師  
福島慎二 東京医科大学病院感染制御部助教  
重松美加 国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官  
研究協力者 船山和志 横浜市健康福祉局医療安全課医療安全相談担当係長  
黒瀬琢也 熊本県土木部都市計画課景観公園室主幹

**研究要旨**

幼児を対象とした感染症予防行動「手洗い」「うがい」の啓発を目的とした双方向コミュニケーションを考慮した紙芝居の開発に着手した。双方向コミュニケーションを図るために考えられた方法は、〇×式でないクイズ形式であった。また経験等を踏まえ、2編のストーリーを組み立てた。次年度以降試作品を完成させ、試用により完成させ、評価を実施する必要がある。

**A. はじめに**

幼児は、保育所、幼稚園等集団での生活時間が長く、感染症についてハイリスク者となりえる。子どもたちにとって多くの感染症の知識を習得することは困難であっても、基本的な感染症予防行動である「手洗い」「うがい」が自主的な日常行動の一部として習慣化されていることが、感染症予防につながる。

これまで、幼児への情報伝達として以前より利用されている「紙芝居」は、1994年よりUNISEFによってはじめられた健康教育の媒体である「ブルーボックス」（2003年からはWHOが作成に参加）のなかの感染症予防の媒体のひとつである。

今回、われわれは、参加型によって双方向コミュニケーションを担保できる紙芝居の開発を試みた。

**B. 研究方法**

分担研究者及び研究協力者によって、双

方向コミュニケーションを担保する方法をディスカッションした。また、紙芝居を利用して情報提供する自主的な日常行動を選定した。またそれに対するストーリーを作成した。

**C. 研究結果及び考察**

幼児を対象とした紙芝居は、声優や感染症専門家ではない司会者が、登場人物の声とナレーションを行う。そのため、登場人物は2名以内であることが好ましいと考えられた。また、研究協力会社（株）イオンファンタジーでの紙芝居経験から、集中できる時間として最大15分以内となった。双方向コミュニケーションの方法として、クイズ形式が考えられた。ただし、回答者が不正解を選ぶことはかならずしもその後の知識となるわけではない、感染症予防とは無関係な「恥ずかしい」などの感情が先行することを避けるため「〇」「×」式は好ましくないとの結論にいたった。結果、そ

のギミックとしては、紙芝居のボードに絵をはめ込む形式が考えられた。

また「手洗い」の目的（手に付着したウイルスや細菌を洗い流す）を理解してもらうためのギミックとして、フィルターを利用することを考えた。

ストーリーとしては、動物由来感染症をテーマとして動物の取り扱い後の手洗い編と、遊んだあと（公園）の手洗い編の2編を試作した。

#### D. 今後の課題と展望

絵柄とギミックの試作を重ねて、ストーリーとともに完成させ、試行と評価を実施する。

#### E. 健康危険情報

#### F. 研究発表・学会発表

なし

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

#### (研究協力・企業等)

東京大学環境教育ゲーム開発研究会  
(株)イオンファンタジー

# 手洗い紙芝居 コンセプト案

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

# ストーリー

## くしゃみ編

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

2

## くしゃみ編

- 1  
• クミちゃんは公園から家に帰ってくる。  
• 玄関で「ただいま」
- 2  
• お母さん「お帰りなさい。手を洗いなさい。」  
• 「はい」返事をして手をよく洗うクミちゃん
- 3  
• 手を洗った後、「はくしょん！」  
• くしゃみを手で覆うクミちゃん

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

3

## くしゃみ編

- 4  
• 「あー寒い」と、リビングへ向かうクミちゃん  
• リビングのドアノブをそのまま掴んでしまう。
- 5  
• リビングで鼻がむずむずするクミちゃん  
• 鼻をかんで、そのまま机に放置してしまう。
- 6  
• 「夕飯までテレビ見ようっと」  
• リモコンでテレビをつけるクミちゃん。

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

4

## くしゃみ編

- 7  
• そこへ、テレビの画面からワッシー登場  
• 「わが名はワッシー。クミちゃん、手は洗ったかい？」
- 8  
• 「うん！洗ったよ！」笑顔のクミちゃん  
• 「おやおや、おかしいな。手に菌がついてるよ」  
• 「え？どうしてだろう・・・？」
- 9  
• そこでまた手で覆ってくしゃみをするクミちゃん  
• 「はくしょん！」  
• 「ははーんなるほど、クミちゃん、それが原因だね」  
• 「え？どうして？私、手で覆っているよ」

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

5

## くしゃみ編

- 10  
• 「うん。まわりにくしゃみが飛ばないようにしているんだね。それは素晴らしい。でもね、その手にはくしゃみがたくさんついてしまっているね。」
- 11  
• 「さっきくしゃみをしてから、どんなところをさわってしまったかな？」  
• 「うーん...ドアノブでしょ、リモコンでしょ...」  
• 「そう、それに、鼻をかんだティッシュが机の上におきっぱなしだね。」
- 12  
• 「本当に菌がついてるの？」  
• 「見えないとよくわからないかな？よし、これをあげよう」  
• ワッシーはクミちゃんに魔法のメガネを渡す。「これで見てごらん」

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

6

## くしゃみ編

13

- メガネを通してドアノブやリモコン、ティッシュを見るクミちゃん【**フィルターのギミック**】
- 「うわー本当だ。バイ菌がいっぱい！」

13-2

- 「もし、こういうばい菌が体内に入ってしまったら、風邪になったり、熱が出たりしてしまうんだ。」（強送っている絵）

14

- 「こうならないためにはどうすればいいかな？」
- 「えっと、まずは・・・」【**はめ込み式ギミック**】

15

- 「マスクをすることだね！」「その通り！」
- 「後は...マスクがないときにくしゃみをしてしまったら、すぐに手を洗えばいいんだね！」

東京大学環境教育ゲーム開発研究会 7

## くしゃみ編

16

- お母さん「ご飯よー」
- 「さ、どうやらご飯ができたようだ。」
- 「ありがとうワッシー！私、もう一度手を洗ってくるね！」

東京大学環境教育ゲーム開発研究会 8

## 備考

- くしゃみ編では、ウィルスが口から入るとどうなるか、といった描写をしていない。
  - これは、全体が長くなってしまったため。
    - 別に入れても問題はないと思われる。

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

## 洗うところは、全部で6つ

1. 手のひら
2. 手のこ
3. 指のあいだ
4. 手首
5. 親指のつけね
6. つめ

・上記6点をはめ込み式にして、順番をあてさせれば子どもたちの頭にも残るのではないだろうか。

東京大学環境教育ゲーム開発研究会 20



# 手洗い紙芝居 コンセプト案

東京大学環境教育ゲーム開発研究会

## ペット編

1

- ケン君はペットのジョンを連れて散歩。
- 「いってきまーす」

2

- 公園でサキちゃんを発見！
- 「おーい、サキちゃん！」

3

- 「あ、ケン君！こんにちは、ジョン君も。」
- 「こんにちはは、サキちゃん。あ、サキちゃんも犬を飼っているんだね！名前はなんていうの？」
- 「モモちゃんって言います。よろしくね。」

## ペット編

4

- ケン君、モモちゃんをなでる。
- 「モモちゃんこんにちは！神よさそうだね！」
- 「伸いよ！ キスだってするもんねー」
- と、口を近づけたところで・・・

5

- 砂場からワッシー登場。
- 「わか毛はワッシー、君たち、ちょっと待って」
- ケン「ワッシー、どうしたの？」

6

- ワ「サキちゃん、君は今、モモちゃんとキスしようとしたわ？」
- サキ「うん、だって私も神良しだから・・・」
- ワ「うん！神良しなのはよくわかる。でもどんなに神が良くてモモちゃんにキスしてはいけないよ。」
- サキ「どうして？」

## ペット編

7

- 「犬の口にはたくさんの菌がついている。犬にとっては平気な菌でも、人間にとっては危険なものがあるんだ。」
- ケン「そんなんだ。」
- サキ「知らなかったー」
- ワ「だから、決して、キスをしたり、口うしてエサを与えたりしてはいけないね。」

8

- 「それに、ケン君、さっきモモちゃんを顔であげたよね。」
- ケン「それもだめなの？」
- ワ「そんなことはないさ、たくさん可愛がってあげればいい。けども、そのあとにはしっかりと手を洗おうね。」
- サキ「毛にもばい菌がついてるんだね。」ワ「その通り。」

9

- ジョンが震えている。
- ケン「どうしたのジョン君、おトイレ？」

## ペット編

10

- ビニール袋を取り出してうんちをしまうケン君
- ケン「よいしょっと」
- ワ「えらいよ、ケン君！うんちをそのままにしておいては、ほかの人にも迷惑がかかってしまうね。」

11

- 砂場にいるモモちゃんを呼び寄せるサキちゃん。
- サキ「モモちゃん、こっちにおいで、ここでトイレしよう。」
- ワ「サキちゃんも偉いね！砂場ではうんちをさせないほうがいいね。」

12

- ワ「二人とも立派な飼い主だったんだね。僕は感動したよ。」
- 笑顔のケン君とサキちゃん

## ペット編

13

- ワ「よし、それでは二人にもう一つだけ教えておこう。」
- 「二人は、予防接種って知ってるかな？」

14

- サキ「注射のことでしょ？私もうしたよ！」ケン「僕も」
- ワ「二人とも、偉いね！ところで、二人とも犬用の予防接種があることを知っているかな？」
- ケン「そうなんだ」

15

- ワ「犬には犬の、病気がある、みんなの大好きなペットが病気になるように、ペットには予防注射を家に帰ったらお父さんお母さんに聞いてみよう。」
- サキ、ケン「はい！」

## 資料



動物由来感染症とは？

動物由来感染症とは、その漢字から分かるように、動物から人間へうつる感染症を表す言葉です。家族の一員としてかわいがっている犬や猫、鳥などのペットにも病原体が潜んでいる可能性が十分考えられます。

また、国内だけでなく海外旅行などで感染してしまうケースも。「動物由来感染症」からご自身の身を守るために、予防や治療に関する正しい知識を持ち、ペットとの楽しい生活を送りましょう。

どんな病気？どんな動物から？

 オウムなどの鳥類 <b>オウム病</b> など	 犬やキツネなど <b>狂犬病</b> <b>エキノコックス症</b> など	 ネズミなど <b>ペスト</b> <b>腎症候性出血病</b> など	 牛などの偶蹄類 <b>Q熱</b> <b>腸管出血大腸菌</b> など	 猿などの霊長類 <b>Bウイルス病</b> <b>細菌性赤痢</b> など
---	--	---	--	---

世界でおこっている動物由来感染症

日本や世界でおこっている動物由来感染症に関する症例などを紹介しています。下の地図、または地域の名称から関心のある地域をクリックしてください。





動物由来感染症について


注意すること・予防策


海外から日本へ動物を持ち込む場合

相談できる場所は？

 **医療従事者の方々へ**  
1類～5類感染症の病名と各症状を掲載しています。

 **国の役割**  
狂犬病予防対策の概要/解説や動物由来感染症対策の概要/解説など。

 **関係法規等**  
狂犬病予防法関係や感染症予防及び感染症患者に対する法律など。

 **統計資料**  
犬の登録数等や我が国の動物由来感染症の患者数など。

 **リンク**  
各種関連リンク集。



# 動物由来感染症とは？

## 動物由来感染症を知っていますか？

トップへ ※新しいバナー

注意することは？ 予防対策は？ g0

海外から日本へ動物を持ち込むには？ j0  
※文字内容修正

知っておくべきところは？ f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

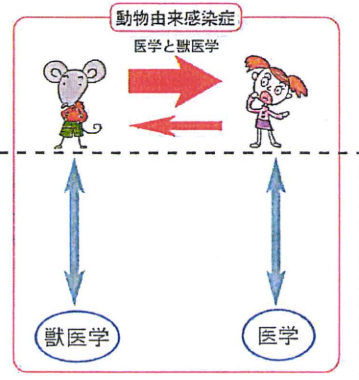
統計資料 b03

リ > り d0

※新しいバナー

この言葉を目にするのはおぼろげな方もいらっしゃると思いますが、漢字からその意味を容易に想像していただけるものと思います。おわかりのとおり「動物由来感染症」とは、動物から人間へうつる感染症をあらわす言葉です。「人畜共通感染症」、「人獣共通感染症」として「ズーノーシス」といった言葉もありますが、厚生労働省は人の健康問題という観点に立って、この「動物由来感染症」という言葉を使っています。人の感染症については医学が対応し、動物の感染症については獣医学が対応していますが、動物から人へ伝播する動物由来感染症については、医学と獣医学が協力して対応することが大変重要です。図1に私たちが動物由来感染症の研究範囲として考えているイメージを示しました。

1. 動物由来感染症の伝播
2. 動物由来感染症の保有動物
3. 動物由来感染症の病原体
4. 日本に動物由来感染症が比較的少ない理由
5. これからの課題は？



※図を削除する？ あった方が良かったら、右側（字のうしろ）に移動する

TOPへ戻る

### 1. 動物由来感染症の伝播

次に動物由来感染症の拡がり方を大まかに理解してみましょう。感染症がうつることを「伝播」といいます。動物由来感染症における伝播とは病原体が動物から人間へうつる全ての途中経過をあらわします。病原体の伝播は感染源である動物から直接人へうつる直接伝播と、感染源動物と人間との間に何らかの媒介物が存在する間接伝播の、大きく二つに分けることができます。さらに間接伝播は動物の体から出た病原体が周囲の環境（水や土壌など）を介して人間へうつるもの、感染動物体内の病原体を節足動物など（ベクター）が運んで人間へうつるもの、および人間が利用する畜産物が病原体で汚染されている場合に分けて考えることができます。

TOPへ戻る

### 2. 動物由来感染症の保有動物

動物由来感染症の病原体の多くは本来は動物が持っているものです。このため動物の種類ごとに分けて考えることで、さまざまな動物由来感染症の特徴を見出すことができます。こうした種類分けはもちろん例外や中間的なものもありますが、以下のように考えてみたいと思います。

TOPへ戻る

### 3. 動物由来感染症の病原体

動物由来感染症の原因となる病原体には、大きいものでは何センチ（時には何メートル）もある寄生虫から、電子顕微鏡を用いなければ見ることのできないウイルスまで、さまざまな病原体があります。また最近では従来の微生物の概念とは異なるプリオンというタンパク質までもが動物由来感染症の原因となることが知られています。

TOPへ戻る

### 4. 日本に動物由来感染症が比較的少ない理由

以上、動物由来感染症を大まかに眺めてみました。ここにあげた動物由来感染症の全てが日本に存在するわけではありません。世界的にみると300近くの動物由来感染症を数えることができますが、そのうち日本には数十～100くらいがあると推測されます。日本に動物由来感染症が比較的少ない理由としてつぎのことが考えられます。

TOPへ戻る

### 5. これからの課題は？

近年、動物由来感染症が問題となってきた背景…人間社会の変化など  
例えば  
・膨大な人の移動  
・人口の都市集中、交通手段のめざましい進展と物流の活性化  
・絶え間ない土地開発と自然環境の変化  
・先進国では高齢者の増加などの影響など

TOPへ戻る

※すべての文章を省略しています

e01～e04も同様に  
一般の人向けに、分かりやすい  
ページを作った方がよいのでは？



## オウム病

### 動物由来感染症を 知っていますか？

トップへ ※新しいパナー

注意することは？ 予防対策は？ g0

海外から日本へ動物を持ち込むには？ j0  
※文字内容修正

相踏すべきところは？ f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

統計資料 b03

リンク d0

※新しいパナー

#### ■初発症状

- 突然の発熱(38°C以上)で発症する。

#### ■臨床症状

- 咳嗽は必発で、通常は乾性、時に粘液性痰を伴う。
- 全身倦怠感、食欲不振、筋肉痛、関節痛、頭痛などインフルエンザ様の症状があり、しばしば比較的徐脈、肝・脾腫を伴う。
- 小児より高齢者で症状は強い傾向があり、重症例では呼吸困難、意識障害をきたし、髄膜炎や多臓器不全、DICにてまれに死亡例もある。

#### ■感染経路

- 鳥(セキセイインコ、オウム、ハトなど)の排泄物に含まれる菌体を吸入することによるが、口移しの給餌での感染もある。ヒトからヒトへの感染はまれだが、肺炎未治療例の咳、喀痰などは要注意。

#### ■潜伏期

- 通常の感染では7～14日。

#### ■治療

- 中等症、重症例ではテトラサイクリン系薬(ミノサイクリン)の点滴静注100mg1日2回。
- 軽症ではテトラサイクリン系薬、ニューマクロライド系薬、ニューキノロン系薬の内服。
- 投与期間少なくとも10～14日必要。
- 妊婦、小児ではマクロライド系薬。

#### ■経過・予後

- 早期治療をすれば良好であるが、まれに治療の遅れで死亡例あり。

出典:日本医師会編・発行「日本医師会生涯教育シリーズ」『感染症の診断・治療ガイドライン』より 日本医師会の許可を得て転載

※一例です。

動物由来感染症を  
知っていますか？

トップへ ※新しいバナー

注意することは？ 予防対策は？ g0

海外から日本へ動物を持ち込むには？ j0  
※文字内容修正

相対できる場所は？ f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

統計資料 b03

リンク d0

※新しいバナー

※各地域へのリンクを削除

北アメリカであったこんな話!?

1. アメリカではコウモリに御用心！(狂犬病)
2. ペット用プレーリードッグが大量死(ペスト)
3. ニューヨークでも動物由来感染症(ウエストナイル熱)
4. ネズミが原因の新興感染症(ハンタウイルス肺症候群)
5. サルに咬まれて・・・(Bウイルス病)
6. 生物テロ兵器と動物由来感染症(炭疽、ペスト、野兔病等)

※表題の文字は左揃えに統一する

※番号追加

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右に  
また、イラストが必要かどうか？

※各項目共通して  
「関連リンク」  
を削除する

※各項目の後に  
「▲TOPへ戻る」が入ります

←※すべての文章を省略しています

1. アメリカではコウモリに御用心！  
(狂犬病)



ほんわりあったこんな話

米国オレゴン州に留学研修の生徒を引率して渡航した日本の高校のA先生に起きた、  
日本初が言えないようなお話です。  
▲TOPへ戻る

2. ペット用プレーリードッグが大量死  
(ペスト)



野生動物には注意が必要です

1996年4月下旬から5月上旬にかけて、テキサス州で約500頭のプレーリードッグが動物  
業者より捕獲され、そのうち356頭が同州の他地域のブローカーに送られました。  
到着3～4日後、若干のプレーリードッグが死亡しましたが、輸送によるストレスによる  
ものと考えられました。ところが、到着後7日目(捕獲後12～17日後)には、相当数のプ  
レーリードッグが死亡し、その死因は3～4日後発症。抗前駆が検出されたようやく75頭が  
▲TOPへ戻る

3. ニューヨークで動物由来感染症  
(ウエストナイル熱)



大都会ニューヨークと動物由来感染症といっても、なかなか関係が想像できないかも  
しれません。この病気、1999年秋のニューヨークで大変な騒ぎを起こしました。少なく  
とも7名が死亡し50人以上が発病したと伝えられています。少なく  
米国ではこの年に以降、毎年、流行地域は西進し、2003年には46州で8,858人の患者が  
確認され、うち262人が死亡しています。  
▲TOPへ戻る

4. ネズミが原因の新興感染症  
(ハンタウイルス肺症候群)



1992年6月に、米国南西部のニューメキシコ州を中心に、突如出現した新興感染症  
(エマージング・ゼノーズ)がこのハンタウイルス肺症候群です。

●これまでの発生状況

北米大陸の米国(363名罹患、死亡率38%)、カナダ(32名罹患、12名死亡)  
南米大陸のアルゼンチン、チリ、パラグアイ、ブラジル、ウルグアイ、ボリビア(合計22  
9名罹患、死亡率60%)  
▲TOPへ戻る

5. サルに咬まれて (Bウイルス病)



この病気の名前は、最初の患者である米国のB博士の名前にちなんだもののB。B  
博士は1932年にアカゲサルに咬まれてこのウイルス性の病気に罹患し、脳炎症候を呈  
して死亡しました。  
B博士の死亡後、これまで米国国内で約40例の感染例が報告されており、その7割が  
ウイルス性脳炎で死亡しています。  
▲TOPへ戻る

6. 生物テロ兵器と動物由来感染症  
(炭疽、ペスト、野兔病等)



2001年秋に米国で発生した大型旅客機による同時多発テロ事件と、それに続いて米  
国で起きた炭疽菌の郵送による生物テロ事件以来、各国の衛生当局の重要な対応事  
項に生物テロ対策が上げられるようになりました。

生物テロ兵器とは、無差別大量殺人を可能にする兵器の一種です。核兵器、化学兵  
器に比べて、殺人力が小さく、安価であること、輸送や散布が容易であることが一  
般的な特徴とされています。

医学的にみると、簡単に人から人へ感染すること、高い死亡率であること、社会不安を  
引き起こせること、予防には特別な公衆衛生上の対策を必要とすることが、生物テロ  
兵器の特徴です。

米国CDCは生物テロ兵器として使用される微生物(感染症)をA、B、Cのカテゴリー  
に分類しています。その中には動物由来感染症(病原微生物)がいくつか含まれていま  
す(以下、順記)。

▲TOPへ戻る

動物由来感染症を  
知っていますか？

トップへ ※新しいバナー

注意することは？ 予防対策は？ g0

海外から日本へ動物を持ち込むには？ j0  
※文字内容修正

相対してきるところは？ f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

統計資料 b03

リンク d0

※新しいバナー

※各地域へのリンクを削除

中南米であったこんな話！

1. 「南米に自転車旅行に出かける方」の疑問 (ハンタウイルス肺症候群、ペスト)
2. 馬の病気の大流行と人の病気との関係 (ヴェネズエラ馬脳炎)
3. 忘れられた病気でおばあさんと孫が死亡 (狂犬病) ※表題の文字は左揃えに統一する

※番号追加

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右に  
また、イラストが必要かどうか？

1. 「南米に自転車旅行に出かける方」の疑問  
(ハンタウイルス肺症候群、ペスト)



南米の国々を友人と2人で自転車でもわる予定のB君の疑問

昨年、南米旅行した先輩からネズミが媒介する死亡率の高い病気のことを聞かされ、そのような病気についての基本的なこと、さらに自分でも勉強する方法を知りたいとのこと。

ご心配の病気は、1990年代に入って初めて知られるようになったハンタウイルス肺症候群、もしくは黒死病として古くから知られるペストかと思われます。ただ、南米を旅行される時まず気を付けるべき病気は、食べ物から感染する旅行者下痢症や蚊が媒介するマラリアなどの一般的に多くみられる感染症です。

▲TOPへ戻る

※各項目共通して  
<関連リンク>  
を削除する

※各項目の後に  
「▲TOPへ戻る」が入ります

2. 馬の病気の大流行と人の病気との関係  
(ヴェネズエラ馬脳炎)



中米と南米で新興感染症(エマージング・ディーズ)として知られる動物由来感染症に、このヴェネズエラ馬脳炎があります。

過去にしばしば大規模な流行を引き起こしており、このような広域性の流行を起こすタイプのヴェネズエラ馬脳炎ウイルスは多くの種類の蚊によって媒介されますが、自然界でのウイルス保有宿主動物はまだ分かっていません。

▲TOPへ戻る

←※すべての文章を省略しています

3. 忘れられた病気でおばあさんと孫が死亡  
(狂犬病)



我が国では、狂犬病で亡くなった方は1970年以降一人もいません。

ここで紹介する南米コスタリカでも、1970年を最後に人の狂犬病の発生は無く、狂犬病は過去の病気として扱われてきたそうです。しかし、国民皆が忘れていたときに、無くなったはずの病気がまた突然やってきたのです。しかも、おばあちゃんとその孫の命を奪うかたちで。

現地の報道(2001年10月29日付けLa Nacion紙)によると、コスタリカの首都サン・ノゼから南に行った御に暮らしていた、69歳のお婆さんと9歳の孫の二人は、猫から狂犬病に感染したようです。そしてここからの対応に問題があったようですが、二人が発症するまでの間、疑われる猫の狂犬病検査も、二人に対する狂犬病暴露後免疫治療も、実施されなかったそうです。

これらの検査と治療は狂犬病発症予防の基本であり、狂犬病発生国では欠かせない対応とされています。

コスタリカでは30年間狂犬病が発生してないことから、動物対策が重要との認識が薄れ、イヌに対する狂犬病ワクチン注射率はわずか3%になっていたとも言われています。また医療機関でも、狂犬病発生を念頭においた動物咬傷事故後の治療が行われていなかったそうです。

狂犬病は人から人に感染が広がるような怖い病気ではありませんが、一旦発症すると絶対に助からない病気です。また、一旦動物にまん延してしまうと、その撲滅には大変な努力と費用が必要となります。

我が国もコスタリカと同じように狂犬病の発生が長期間無いはずらしい国ですが、他の国で起きた事件を教訓に対応を忘れないでいることが重要です。

<関連リンク>  
Promed

※削除

▲TOPへ戻る



※各地域へのリンクを削除

# アジアであったこんな話!?

動物由来感染症を  
知っていますか?

トップへ ※新しいバナー

注意することは? 予防対策は? g0

海外から日本へ動物を持ち込みには? j0  
※文字内容修正

相談できる場所は? f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

統計資料 b03

リンク d0

※新しいバナー

1. [ダニが結ぶ人の病気とネズミの関係\(回帰熱\)](#)
2. [ネズミの尿と人の病気の話\(腎症候性出血熱\)](#)

※表題の文字は左揃えに統一する

※番号追加

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右に  
また、イラストが必要かどうか?

## 1. ダニが結ぶ人の病気とネズミの関係 (回帰熱)



回帰熱という病気の名前は、発熱、筋肉痛などの症状があらわれる期間と、それら症状が無くなる期間が交互にみられ、それを数回繰り返す特徴的な症状にちなんで命名されたものです。病原体はスピロヘータという微生物です。  
※スピロヘータ: 細長くらせん状の形をして、活発な屈伸運動をする微生物の総称

日本ではなくなって久しい病気ですが、世界各地では...

スペイン、熱帯アフリカ、インド、中央アジアで地域的に流行がみられます。病原体に感染しているげっ歯類や人をダニが吸血し、ダニの体内で病原体が増殖し、そのダニに咬まれることによって人は感染します。

<関連リンク>

※各項目共通して  
<関連リンク>  
を削除する

▲TOPへ戻る

※各項目の後に  
「▲TOPへ戻る」が入ります

## 2. ネズミの尿と人の病気の話 (腎症候性出血熱)



ユーラシア大陸の各地では古く1930年代から、発熱、出血傾向、腎障害を特徴とする風土病が知られてきました。1978年、韓国のハンタン川流域で捕獲されたネズミから、この病気の原因ウイルスが初めて分離され、その川の名前にちなんでハンタンウイルスと命名されました。

今までこのウイルスには地域によりいくつかの型があることが判明  
中国、韓国、極東ロシア...ハンタン型(年間合計数万人が罹患)とソウル型(年間合計数百人が罹患)  
欧州...ブーマラ型(北欧と中央ヨーロッパ)とドブラバ型(東欧)  
各地で病名は異なりますが、WHOではネズミが媒介するこれらの病気をまとめて腎症候性出血熱と呼ぶこととしています。

<関連リンク>

※<関連リンク>  
を削除する

▲TOPへ戻る

← ※すべての文章を省略しています

動物由来感染症を知っていますか？

トップへ ※新しいバナー

注意することは？ 予読対策は？ g0

海外から日本へ動物を持ち込むには？ j0 ※文字内容修正

知覚できる場所は？ f0

医療従事者の方々へ i0

国の役割 b01

関係法規等 b04

統計資料 b03

リンク d0

※新しいバナー

※各地域へのリンクを削除

東南アジアであったこんな話!?

1. 冒険レースに参加した男性が感染した病気 (レプトスピラ症)
2. 「アジアの国へ古都巡りに出かける方」の疑問 (デング熱、マラリア、狂犬病)
3. マレーシアの豚の病気と人の死の関係 (ニバウイルス感染症)
4. 新型インフルエンザウイルス (インフルエンザ)

※表題の文字は左揃えに統一する

※番号追加

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右にまた、イラストが必要かどうか？

1. 冒険レースに参加した男性が感染した病気 (レプトスピラ症)



日本の男性が、ボルネオで開催された4人一組で約10日間をかけてジャングル踏破、カヌー漕ぎ、カヤック漕ぎ、溪谷下り、スキューバダイビング、マウンテンバイク乗り、洞窟探検をするレースに参加しました。レースを終えて帰国してから3日目、男性は悪寒とともに高い発熱(39度)を呈し、入院しました。

※各項目共通して<関連リンク>を削除する

▲TOPへ戻る

※各項目の後に「▲TOPへ戻る」が入ります

2. 「アジアの国へ古都巡りに出かける方」の疑問 (デング熱、マラリア、狂犬病)



東南アジアの国々に、10日間の古都巡りのツアーに出かけるA子さんの疑問です。ガイドブックでデング熱、狂犬病などの病気の名前を見て、ちょっと不安になりました。何か注意することはありますか？

▲TOPへ戻る

3. マレーシアの豚の病気と人の死の関係 (ニバウイルス感染症)



マレー半島北部のPerak州のイポー近郊は、山間部で養豚業が盛んなところですが、ここから起こった豚と人を死に至らしめた新しい感染症をご紹介します。1997年イポーの養豚農家に散発的に脳炎患者が発生し、次第に脳炎患者は増え始め、Perak州だけでなく、Kedah州、Selangor州、Johor州、Sarawak州などマレーシア各地に広がりWHOによる終息宣言が出された2000年5月までに、合計265人が入院し、105人が死亡しました。

▲TOPへ戻る

4. 新型インフルエンザ (インフルエンザ)



インフルエンザウイルスは、もともと野生のカモの腸内に保有され、渡り鳥として飛来することによって各地に伝搬されると考えられており、ときどき家畜であるニワトリの間に流行を起こし大きな被害を与えています。

通常、トリのインフルエンザは人間も感染しませんが、今からご紹介する例は少し事情が違ってました。

▲TOPへ戻る

←※すべての文章を省略しています

動物由来感染症を  
知っていますか？

[トップへ](#) ※新しいバナー

[注意事項とは？ 子域分けは？](#) [g0](#)

[海外から日本へ動物を持ち込むには？](#) [j0](#)  
※文字内容修正

[相対できる場所は？](#) [f0](#)

[医療従事者の方々へ](#) [i0](#)

[国の役割](#) [b01](#)

[関係法規等](#) [b04](#)

[統計資料](#) [b03](#)

[リ > ユ](#) [d0](#)

※新しいバナー

※各地域へのリンクを削除

ヨーロッパであったこんな話！？

1. [ペットのは虫類が赤ちゃんの病気の原因 \(サルモネラ症\)](#)
2. [ハリネズミに触って病気になった男性 \(ネズミチフス菌\)](#) ※表題の文字は左揃えに統一する
3. [人の健康には恐くなくても、農業に大変恐い病気 \(口蹄疫\)](#)
4. [森林に潜むダニが媒介する動物由来感染症 \(ダニ媒介性脳炎\)](#)
5. [「ウシの伝達性海綿状脳症」\(BSE\) と「ヒトの新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病」\(vCJD\) の関連について](#)

※番号追加

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右に  
また、イラストが必要かどうか？

1. ペットのは虫類が赤ちゃんの病気の原因  
(サルモネラ症)



※各項目共通して  
<関連リンク>  
を削除する

[▲TOPへ戻る](#)

※各項目の後に  
「▲TOPへ戻る」が入ります

英国でのお話

2. ハリネズミに触って病気になった男性  
(ネズミチフス菌)



[▲TOPへ戻る](#)

ノルウェーでのお話

3. 人の健康には恐くなくても農業に大変恐い病気  
(口蹄疫)



牛や羊、豚などに、口蹄疫という病気があります。この病気に罹ると、口や蹄(ひづめ)に水疱ができて、通常のように食べることができず、その結果瘦せてしまい、家畜としての経済的な価値が低下してしまいます。

[▲TOPへ戻る](#)

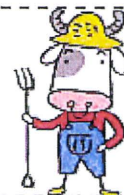
4. 森林に潜むダニが媒介する動物由来感染症  
(ダニ媒介性脳炎)



ヨーロッパの静かな森を散歩することは、魅力的な旅のプランの一つでしょう。しかし、ヨーロッパの森に入ることによって、知らないうちに感染してしまう病気があることをごぞんじでしょうか。実際に日本の旅行者で被害に遭った人もいます。その病気を紹介し

[▲TOPへ戻る](#)

5. 「ウシの伝達性海綿状脳症」(BSE) と  
「ヒトの新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病」  
(vCJD) の関連について



1996年3月に、英国で計10名の古典的CJDと異なる臨床経過と病理像を示す20歳代のCJD例、vCJDが報告され、BSEとの濃厚な関係が疑われました(注)。現在、vCJDの原因はBSE感染牛の神経組織の摂取によることが原因であるとされています。ヒトのvCJDはBSE感染牛の異常プリオンを摂取したことによる動物由来感染症と

[▲TOPへ戻る](#)

←※すべての文章を省略しています

動物由来感染症を  
知っていますか？

[トップへ](#) ※新しいバナー

[注意することは？予防対策は？](#) [g0](#)

[海外から日本へ動物を持ち込むには？](#) [j0](#)  
※文字内容修正

[相対できる場所は？](#) [f0](#)

[医療従事者の方々へ](#) [i0](#)

[国の役割](#) [b01](#)

[関係法規等](#) [b04](#)

[統計資料](#) [b03](#)

[リンク](#) [d0](#)

※新しいバナー

※各地域へのリンクを削除

アフリカであったこんな話!?

1. 熱帯雨林に潜む致死的な感染症 (エボラ出血熱、マールブル病)
2. 黒死病も動物由来感染症 (ペスト)
3. 人の天然痘は根絶されても (サル痘)
4. 病院内のアウトブレイク (クリミア・コンゴ出血熱)
5. アフリカからドイツに運ばれた動物由来感染症 (ラッサ熱)

※表題の文字は左揃えに統一する

※大きな番号を付けて、イラストは表題の右に  
また、イラストが必要かどうか？

※番号追加

1. 熱帯雨林に潜む致死的な感染症  
(エボラ出血熱、マールブル病)



※各項目共通して  
<関連リンク>  
を削除する

[【エボラ出血熱】>>もっと詳しく知りたい方](#)  
[▲TOPへ戻る](#)

※各項目の後に  
「▲TOPへ戻る」が入ります

2. 黒死病も動物由来感染症 (ペスト)



[【ペスト】>>もっと詳しく知りたい方](#)  
[▲TOPへ戻る](#)、中世ヨーロッパで猛威をふるったこの病気、ご存じの方も多いと思

3. 人の天然痘は根絶されても (サル痘)



痘そう(天然痘の学術用語)という病気の名前をご存じの方も多いと思いますが、有史以来人類を悩ませてきたこの痘そうは、1980年に地球上から根絶されました。ここで取り上げるサル痘は、この根絶された痘そうによく似ているサルの病気で、人も感染します。  
[▲TOPへ戻る](#)

4. 病院内のアウトブレイク  
(クリミア・コンゴ出血熱)



クリミア・コンゴ出血熱という名前は、中央ロシアのクリミア地方で旧ソ連軍兵士に流行した病気と、アフリカのコンゴで流行した病気が同じものであったことから、つけられた。  
[▲TOPへ戻る](#)

5. アフリカからドイツに運ばれた動物由来感染症  
(ラッサ熱)



ラッサ熱とは、西アフリカ一帯に生息するマストミス(和名 ヤワゲネズミ)というネズミが媒介するウイルス性の出血熱です。なお、2003年11月から、マストミスの日本への輸入は禁止されています。

[【ラッサ熱】>>もっと詳しく知りたい方](#)

[▲TOPへ戻る](#)

←※すべての文章を省略しています